

## 第6回 魚津市立片貝・吉島・西布施小学校統合準備会 会議録（要旨）

1. 日 時 平成 27 年 6 月 1 日（月） 午後 7 時から午後 8 時 30 分

2. 場 所 吉島小学校会議室

3. 出席者 委 員 15 名  
事務局 6 名

4. 報告事項 (1) 清流小学校校歌の歌詞、作曲者の選定について  
(2) 生活部会の開催について

5. 議事等 清流小学校の校章デザイン募集について

### 6. 議 事

事務局 第 6 回魚津市立片貝・吉島・西布施小学校統合準備会を開会する。教育長より挨拶を行う。

教育長 — あいさつ —（略）

事務局 会長に本日の議事進行をお願いする。

会 長 議事進行を務めさせていただく。最初に、事務局より報告をお願いする。

事務局 — 清流小学校校歌の作詞、作曲者の決定について説明 —

※第 5 回統合準備会での選考をもとにお願いしたところ、校歌の作詞は長島潔氏（前教育長）に、作曲は前畑匡伸氏に決定した。

— 生活部会等の開催について説明 —（略）

※生活部会で協議状況（制服等）について経過報告

会 長 ただいまの事務局からの報告で何かご質問やご意見はありませんか。

委 員 これまで市民バスの一部を使ってスクールバスとして代替えてきた経緯があるが、スクールバスと市民バスとの関連性はどのように考えているのか。また、地域の活性も含めスクールバスの在り方を検討する必要があると思うがいかがか。

事務局 現段階では未定であり、今後、検討していきたい。商工観光課や関係者と連携して協議していきたい。

委 員 通学路についても安全性を確保しながら検討していただきたい。

会 長 議事に入る。清流小学校の校章デザインについて事務局より説明をお願いする。

会 長 事務局の説明についてご意見があればお願いしたい。

委 員 作品の選考についてだが、子どもたちにも選ばせてあげたいと思うがいかがか。

事務局 応募数が仮に 100 件あったとし、その 100 件すべてをこの統合準備会で選考するのは大変であると思う。そこで、第一次選考を学校で行ってもらい、選考されたものを統合準備会で最終的に決定したいと考えている。学校が行う一次選考の中で、子どもたちの意見も反映されるのではと思っている。

委 員 子どもたちの意見を取り入れてあげたい。新しい学校への愛着が生まれると思う。

会 長 学校で第一次選考を任せたいとのことであったが、委員の皆さんはいかがか。

委 員 かつて、魚津市のイメージキャラクター「ミラたん」の制作に携わったことがある。キャラクターデザインを募集したところ数百通の応募があった。事務局提案のとおり第一次選考等を行い、ある程度、候補を絞ったうえで選考委員会にて決定した経緯がある。同様に、最初に子どもたちに選んでもらい、その後、各学校の先生に 10 件程度に絞り込んでもらってはどうか。

また、募集期間は 8 月 7 日（金）までとなっている。子どもたちにも考えてもらうために夏休みの宿題としたら良いのではないか。

事務局 子どもたちに考えてもらうとしても、夏休みでなくても良いのではと考え、募集開始を 6 月 8 日（月）からと設定した。全国的に見ても募集期間は 1 か月程度である。お盆前が丁度良いとも考えて 2 か月間の募集期間とした。

委 員 子どもたちが考えるデザインを大事にしてあげたい。

委 員 加積地区のイメージキャラクター「かづりん」は、デザインから名前まで子どもたちが作ったもの。子どもの発想力は凄いものがある。私も子どもたちの思いを大事にしてあげたい。

委 員 募集要項の中の選考基準には、「統合校「清流小学校」にふさわしく、地域や学校、児童への思いが伝わる校章とします。」とある。では、何をもち清流小学校にふさわしいデザインとするのか。校名にはいろいろな思いが込められている。

事務局 校名の由来等と校章デザインは切り離して募集することと決定している。いろいろな思いを記載すると、逆に自由なデザインとならないのでは。

委 員 選考する際は具体的な基準が必要だ。「清流小学校にふさわしい」とは何かを決めておかななくてはならないのでは。例えばだが、今制作している校歌に沿ったものだとか、何かイメージできるものがないと選考するのは困難だと思う。

委 員 応募用紙にデザインの意図を記載する欄がある。デザインされた方の思いはここで判断すれば良いのでは。校章の選考はデザインとその意図を総合して行うものだと理解しており、（事務局提案で）良いのではと思う。

事務局 事務局も同様である。総合的に判断して選んでいただければ良いと考えた。本日意

見をいただいたが、校章を決めるまでの過程の中で子どもたちも参加してもらうが、最終的には(地域や保護者の)代表者である統合準備会で10件程度絞られた校章(案)の中から選んでもらいたいと考える。

会 長 ただいまの議論で、他に意見はないか。

委 員 事務局の意見に賛成する。(学校で一次選考した結果)絞られた校章(案)を私たちが選べば良い。

委 員 デザインのみで決めても良いのでは。意図は選考基準にあまり考えなくても良いと思う。

委 員 「採用された校章デザインは、一部補作・修正を行う場合があります。」とあるが、これは、採用しても一部修正を行うということか。

事務局 修正を行う場合もありうるということだ。作成者の意図は十分に尊重しなければならないと考えている。しかし、校章の由来としては、デザイン作成者の意図に加え、統合準備会で「〇〇が伝わる。」といった意見も踏まえ、それを記録として残しておけば良いと考えている。

委 員 (選考前に)統合準備会として望ましい校章イメージを固めておいた方が、選考した理由が明確になって分かり易い。

事務局 自由なデザインを求めることで、想像もしないような案が出てくる可能性もある。

委 員 デザイン作成者の意図と統合準備会が選んだ理由に開きが出る恐れがあるのでは。参考として、校名を「清流小学校」とした由来程度は記載した方が良い。

委 員 学校名と校章は切り離して(デザインを)考えることは出来ないと思う。校名を決定するまでには様々な議論があった。「清流」に込められた思いを校章に表した方が良い。

事務局 事務局としては、なるべく固定観念にとらわれずに、自由なアイデアを求めようということで、あえて具体的な選考基準を設けなかった。[資料11](#)は募集要項の(案)として提示したところであり、統合準備会で決定していただきたい。

会 長 事務局(案)に対して、校名の由来等を募集要項に記載した方が良いとの意見が出ている。どちらがよろしいか諮りたい。

委 員 宿題として子どもたちに校章デザインを提出してもらうこととすれば、子どもたちは真剣に考え、素晴らしいものが出てくると思う。また、統合準備会だより第3号で校名が決定されるまでの過程が詳細に記載しており、市ホームページにも掲載されている。募集を告知する市ホームページに決定過程を掲載したページへリンクするよう、設定する方法もあると思う。

委 員 校名が決定されるまでの議論の内容など、詳細な過程まで参考にしてもらわなくても良いと思う。詳細なものは逆にイメージを固めてしまう。

会 長 委員が想定している表現は、広報うおづ(平成26年6月号)に掲載した校名決定の由来であると思われる。なんらかのイメージを載せたらどうかとの意見が出たが、皆さんいかがか。

【参考】広報うおづ記載（平成26年6月号）の文章

◎片貝・加積・天神・西布施の4つの地域が片貝川、布施川の流域にあり、子どもたちに清らかにたくましく育てほしい。

◎地域を流れる川にちなみ、豊かでたゆまぬ力とともに、絶えることなく伸び行く子どもたちを表現している。

— 異議なしの声 —

会 長        それでは、校名の由来について募集要項に記載することとし、表現については事務局に一任することとしてよろしいか。

— 異議なしの声 —

会 長        それでは、募集要項に校名の由来について記載するよう事務局にお願いします。

委 員        次に、事務局提案のとおり、校章デザインを公募することと、募集資格を市内外問わず、全国とすることとしてよろしいか。

委 員        確認だが、応募数が多い場合はどうなるのか。また、子どもたちの分については学校で一次選考することになるのか。

委 員        子どもたちの分については、人気投票をするなど、子どもたちに第一次選考してもらい、その後、先生方に選考してもらったものを統合準備会で審査する方法がある。10件から20件に絞ってもらわないと、統合準備会で選考することは難しいと思う。

委 員        学校で一次選考するのは、子どもたちの分だけなのか。それとも全ての応募分も一次選考してもらうのか。

委 員        子どもたちは直感で選ぶと思う。それに従っても良いのでは。

委 員        それでは、応募全てを子どもたちに一次選考してもらうということか。

委 員        応募総数によるのでは。何百件も応募があったら難しいと思う。

また、直感で考える子どももいれば、理由を求める子どももいる。特に、低学年の子どもは直感で選ぶが、高学年になると理由を考えてから選ぶ傾向がある。それゆえ、1年生から6年生まで同じ子どもであるとするのは無理がある。応募結果を見て決めたらどうか。

事務局        （これまでの委員の意見のとおり）選考に子どもたちを参加させることとし、その方法については学校に任せることとしたいと考える。応募結果を見て選考方法を決めるとすると（選考）作業が大変になる。この場で統合準備会が選考する件数を決めていただきたい。

会 長        子どもたちの参加させ方はいろんなやり方がある。デザインを考えることも参加であれば、選考させることも参加になる。個人的な意見だが、なるべく多くの子どもたちにデザインを考えさせたい。

委 員        デザインは良いがその意図はあまりピンとこないという場合が想定されるが。

委員 最終的にデザインを決定した時に、由来も決めればよいと思う。

委員 デザインからどのようなことを感じるかが校章に大事な部分である。デザイン作成者の意図を参考にしつつ、決定した後に、その由来を決めればよいと思う。

委員 デザインを決定した理由をその校章の由来とすれば良い。選考を子どもたちにさせるのは難しいと思われるので学校でお願いしたらどうか。

会長 他に意見はあるか。

事務局 応募条件、応募資格は事務局（案）のとおりとし、応募用紙下段に清流小学校の校名の由来を記載することとしてよろしいか。また、選考方法も含め、全ての応募作品を3学校で10件程度選考してもらい、次回統合準備会に提示することとしたい。

委員 子どもたちが選考するのではないのか。

委員 子どもたちはデザインを考えることで参加を促すこととし、選考は学校で行うことでよいのでは。

委員 一般応募も含めてか。

委員 一般応募も含めてである。

委員 デザインを決めた責任の所在をはっきりさせておいた方が良い。学校の先生方で決めたとする誤解を生みかねない。

委員 （校章デザインの）選考部会を新たに設けて選べば良い。

委員 そこまでする必要はないのでは。

会長 子どもたちが主体的に関わる方法として、デザイン作成を挙げた。学校は子どもたちの分を選考するのは構わないが、一般応募の分も含めるのはいかがかと思う。

委員 一般応募の分は誰が選考するのか。市教委が選ぶのか。統合準備会のメンバーで選ぶのか。

会長 事務局はどのように考えているのか。

事務局 事務局では一般応募の分も含め、3校（片貝小・吉島小・西布施小）の先生方で応募作品の絞り込みを行っていただければと考えていた。

委員 皆さんは選考過程において客観性を求めているのだと思う。信頼できる先生方に一次選考してもらっても良いのでは。それが負担であるというのであれば、統合準備会の中から数名を代表者として（先生方と一緒に）決めても良い。

委員 学校の先生方と統合準備会の何人かで選べば良い。先生方だけでは負担が大きい。

事務局 学校の先生方が行うのは、あくまで応募作品の絞り込みであり、最終的に決定するのは統合準備会で行う。絞り込みの段階でも（統合準備会の）代表者が行う方が良いのか。

委員 名前を伏せて絞り込みを行うので、先生方に任せても良いのでは。

会長 これまでの協議から、応募作品の絞り込みは学校の先生方数名が行い、事務局の一部が立ち会うことで第一次選考を行うこととしたい。絞り込みは10件程度でよろしい

か。

— 異議なしの声 —

会 長  
事務局

最後に事務局より連絡事項があればお願いしたい。

校章デザイン募集や校歌の作詞作曲者が決定したことなど、統合準備会だよりを通じて地区の皆さんに周知したい。

専門部会等で決まったことは今後報告していきたい。重要なことで、統合準備会だよりで報告するような案件があれば、その前に臨時的に随時本会を開催したいと考えている。

会 長

それでは、これで第6回統合準備会を閉会する。